

第2回全国エコツーリズムセミナー開催のお知らせ

テーマ：「エコツーリズムをはじめよう」

日程：平成18年2月17日（金）～19日（日）

会場：西海パールシーリゾート（佐世保市）

主催：環境省・佐世保地区エコツーリズム推進協議会

後援：長崎県・佐世保市（予定）

協力：させぼパール・シー株式会社

環境省は「エコツーリズム」の普及と定着に取り組んでいます。より多くの方にエコツーリズムのを知り、関心を持ち、行動していただくことを目指して第2回全国エコツーリズムセミナーを開催いたします。開催場所である佐世保は全国13箇所のエコツーリズム推進モデル地区の一つとして、全国からの注目が集まる場所です。理論だけにとどまらず、実際に行動を強く意識した実践的なセミナーです。

1. セミナーのポイント

1. (総括) エコツーリズムという言葉から抱く素朴な疑問にお答えします

講座1：「いま、どうしてエコツーリズム？」

「エコツーリズムって何のこと？」「エコツーリズムを推進するメリットは？」「これによって地域資源は保護されるの？」「地元への経済的な効果はあるの？」「どうして環境省が？」「私たちは何をすればいいの？」といったエコツーリズム推進に関わる様々な疑問点をわかりやすく解説します。

2. (事例紹介) エコツアー事業実践者が講師となってエコツアーの楽しさを伝えます

講座2：「さまざまなエコツアー」

全国各地で活躍するエコツアー事業者、ガイド実践者が講師として、自ら経験してきた現場における成功例や苦労話などを紹介します。地域の個性を活かした様々な形のエコツアーがあり、子供、若者、家族、年配者を問わず多様な人が参加し楽しんでいることなどを数多くの写真を通してお伝えします。

3. (フィールドワーク) エコツアー体験からエコツアーづくりのコツを考えます

講座3：「フィールドワーク ～」

佐世保地区で実施されているエコツアーを題材としてエコツアー企画の勘どころを考えます。野外編では、佐世保地区で実施されるエコツアーを実際に体験しながら、ポイントごとにエコツアー解説のコツをお伝えします。体験から戻った後の屋内編では、コースごとにわかれて、実体験をふりかえりながら、思い深いエコツアーづくりするための留意点などを参加者全員で考えます。

4. (実践情報) エコツアー事業を継続するための留意点を事例から学びます

講座4：「エコツアー事業と地域のつながり」

各講師が、自分たちの活動が地域のすばらしさの再発見や地域資源の保全、そして地域振興にも役立っていること、一方では地域においてエコツアー事業を継続していくための様々な苦労があることもあわせてお伝えします。エコツアー事業者の一市民として、生活者としての姿も見て頂きます。

5. (地元報告) 地域資源の活用と保全の実際について佐世保地区を事例に考えます

講座5：「地域資源の活用と保全～佐世保地区の取り組み」

地元におけるエコツーリズム関連の取り組み例を『ハウステンボス』『パール・シー』『その他市民活動団体の活動(100年の森づくりなど)』などの各団体が報告します。佐世保のエコツーリズムが着実にすすんでいる状況、そして課題を共有します。

6. (実践へのヒント) 自分とエコツーリズムとの様々な関わり方をイメージします

講座6：「エコツーリズムとの関わり方」

他地域の状況などを通して観光事業者(宿泊や運輸、土産店や飲食店など)とエコツーリズムの関わり方を例示します。また、エコツーリズムというキーワードのもとで、ひとりひとり、自分自身は何ができるか、そのヒントを考えてみます。

2. プログラム

2月17日(金) < 1日目 >

| | |
|---------------|----------------------------|
| 13:00 | 開場 |
| 13:30 | 開会式 |
| 14:00 ~ 14:50 | < 講座 1 > 「いま、どうしてエコツーリズム？」 |
| 15:00 ~ 17:30 | < 講座 2 > 「さまざまなエコツアー」 |
| 18:00 | 交流会(有料です) |

2月18日(土) < 2日目 >

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| 9:00 ~ 13:00 | < 講座 3 > 「フィールドワーク(フィールドでの実践)」(有料です) |
| 14:00 ~ 15:15 | 「フィールドワーク(会場内でのふりかえり)」 |
| 15:30 ~ 17:00 | < 講座 4 > 「エコツアー事業と地域のつながり」 |

2月19日(日) < 3日目 >

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 9:00 ~ 10:30 | < 講座 5 > 「地域資源の活用と保全～佐世保地区の取り組み」 |
| 10:45 ~ 12:00 | < 講座 6 > 「エコツーリズムとの関わり方」 |
| 12:00 | 閉会式 |

プログラムは都合により時間等が変更される場合があります。

3. セミナー講師

青野広明 あおのひろあき(南魚沼市農業体験大学校 事務局長)

1993年より八海山パークホテル「JA 魚沼みなみ」支配人に就任し、現在に至る。首都圏ファミリー層を対象に、田植え、稲刈り体験をはじめ山菜採りやきのこ狩りなどの農業体験メニューを提供している。自身も日本一の評価を得ている魚沼コシヒカリの生産者。

広瀬敏通 ひろせとしみち(ホールアース自然学校 代表)

ホールアース自然学校・NPO ホールアース研究所代表。国内では草分け的なエコツーリズムの実践者として知られ、エコツアーサイトの開発、ガイドライン策定、エコツアーガイド養成等、全国的に活躍している。(特)日本エコツーリズム協会理事のほか、(社)日本環境教育フォーラム常務理事、(特)自然体験活動推進協議会(CONE)理事などをつとめる環境教育、野外教育分野の専門家。

大西かおり おおにし かおり(大杉谷自然学校 校長)

宮川村で生まれ育ち、平成13年4月大杉谷自然学校設立。高齢化率60%を越える大杉谷地域で地域の教育力を生かした環境教育を展開している。地域の文化伝統の消失、衰退について、また林業不景気による森林荒廃について環境教育プログラムを通じて社会に問題提起を続けている。

松本毅 まつもと たけし(屋久島野外活動総合センター 代表取締役)

1987年屋久島と出会い、屋久島へ移住。1993年屋久島野外活動総合センター設立。屋久島の世界遺産登録を機に、屋久島ではじめてエコツアーを事業化。以来、日本におけるエコツーリズムを牽引してきたわが国を代表するエコツアーガイド。

中島慶二 なかしま けいじ(環境省自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長)

福岡県生まれ。東京の郊外で失われてゆく周囲の自然を見て育つ。昭和59年に環境省に入り、尾瀬、大雪山など各地の国立公園のレンジャーとして勤務。どうすれば自然保護が地域に受け入れられるのか、を自らのテーマとし、層雲峡の街並み再整備など国立公園の地域づくりに関わる。平成15年10月から現職。

司会(コーディネーター)

寺崎竜雄(財団法人日本交通公社 市場調査室長)

富山県生まれ。観光分野を専門に扱うシンクタンクの研究員として、旅行者の動向調査や観光地の振興計画の策定などに携わる。最近では“資源価値とは?”“観光地のマネジメント”の追求に意欲をもつ。答えは現場にありをモットーに一年の1/3を出張先で過ごす屋外型研究者。

4. フィールドワーク

2日目の講座3は次のフィールドワークのうち1つを選び、ご参加ください。
(申込用紙(別紙)に参加を希望されるフィールドワークの番号をご記入ください)

| フィールドワーク | フィールドワーク | フィールドワーク | フィールドワーク |
|---|--|--|---|
| 環境に優しい街 ハウステンボスを歩こう | カヤックで波間をすりぬけ 無人島へ行こう | ヨットで南九十九島の風を 見よう | 昔ながらの田んぼで 自然に触れよう |
| ハウステンボスは、全長6kmの運河からなる水の都。ガイドが、知られざる街の姿を紹介する。 同行する講師:長崎県 参加料金:1,000円 | 西海国立公園九十九島をシーカヤックで行くツアー。途中で無人島へ上陸し漂着物観察等を行う。 同行する講師:松本毅(屋久島野外活動センター) 参加料金:1,000円 | ベテラン船長のレクチャーによりヨットを操舵する。風の力を授かり、自然の偉大さを感じる。 同行する講師:環境省 参加料金:1,000円 | 昔ながらの田んぼは、生き物の棲み処。そこに生息する生き物や周辺の自然について知る。 同行する講師:大西かおり(大杉谷自然学校) 参加料金:1,000円 |
| ポイント! 再生した自然の不思議 “琴の海”大村湾 | ポイント! 81.5%の自然海岸 潮の干満の差 | ポイント! 相浦富士と呼ばれる愛宕山 複雑な九十九島の地形 | ポイント! 冬場の自然 半島で見られる野鳥 |
| 実施団体 ハウステンボス | 実施団体 ウミアック | 実施団体 させばパール・シー | 実施団体 ふるさと自然の会 |
| フィールドワーク | フィールドワーク | フィールドワーク | フィールドワーク |
| お茶の郷でお茶の 楽しみ方を体感しよう | 冬の里山にひっそりと佇む 石橋を探そう | 窯元を散策して 三川内焼を作ろう | 平戸往還と早岐瀬戸を 歩こう |
| 特産品である「世知原茶」のおいしい飲み方を体感し、伝統ある茶の文化を楽しく学ぶ。 同行する講師:青野広明(南魚沼市農業体験大学校) 参加料金:1,000円 | 佐々川上流域には、多くの石橋が残されている。石橋の風情を感じながら、その背景に想いを馳せる。 同行する講師:させばパール・シー 参加料金:1,000円 | 400年の歴史をもつ三川内焼。職人の伝統技術に触れ、実際に三川内焼をつくる。 同行する講師:佐世保市 参加料金:1,000円 | 江戸時代の中頃に、その形になったといわれる早岐の町並を見ながら、平戸往還を歩く。古人の智恵に感嘆する。 同行する講師:広瀬敏通(ホールアース自然学校) 参加料金:1,000円 |
| ポイント! 特産品の世知原茶 お茶の飲み方でおいしさが変わる | ポイント! 佐々川 様々な種類の石橋 | ポイント! 三川内山の窯元散策 唐子焼 | ポイント! 平戸八景「潮の目」 早岐茶市 |
| 実施団体 世知原町グリーンツーリズム 推進協議会 | 実施団体 山暖簾 | 実施団体 三川内陶磁器工業協同組合 | 実施団体 佐世保市教育委員会 |

フィールドワークは「西海パールシーリゾート」から出発および解散の予定です。
ツアーの内容等については、都合により変更・中止する場合があります。

5. 参加申し込み要領

- 会場 : 西海パールシーリゾート(佐世保市)
 募集定員 : 200名程度
 参加対象 : 佐世保市および周辺にお住まいの方、エコツーリズム推進関係者(行政、観光振興や自然保全に関する団体、ガイド・宿泊・交通事業者など)
 開催期間 : 平成18年2月17日(金)~2月19日(日) (3日間)
 参加費 : フィールドワークを除く講座参加費用は無料です。(交流会、交通費、宿泊費、食事代などの滞在費は各自のご負担となります。フィールドワークの参加費は1,000円、交流会の参加費は2,000円です。)
 申込み方法 : 参加申込用紙に必要事項を記入の上FAXまたはE-mailにてお申し込みください。
 申込み締め切り : 平成18年1月27日(金)
 申込み先 : させばパール・シー(株) 担当:原田、里崎
 TEL 0956-28-4187 / FAX: 0956-28-4107
 E-mail: sps-1@poem.ocn.ne.jp
 *フィールドワークに関する問い合わせもこちらで承ります。
 セミナー内容に関するお問い合わせ先 : (財)日本交通公社 担当:松本、岩城
 TEL 03-5208-4741 / FAX: 03-5208-4706
 その他ご案内 : 2月4日(土)~19日(日)にかけて、同会場にて「第5回九十九島かき食うカキ祭り」を開催しております。お時間のある方は是非お立ち寄りください。

6. 現地のご案内

1. 宿泊について

宿泊施設については、**各自で手配**をしていただきますようお願いいたします。

佐世保観光情報センター（佐世保駅構内・年中無休 9時～18時） TEL：0956-22-6630

佐世保の食・飲・泊の情報ホームページ 佐世保タウンガイド（<http://www.sasebo-towns.net>）

2. 会場までの交通について

JR佐世保駅から

有料シャトルバス（所要時間／約20分） 片道大人230円

JR佐世保駅【国道側】__番のりば 鹿子前観光船桟橋【西海パールシーリゾート】

平日(12:30 発 12:50 頃着)

路線バス（所要時間／約25分） 片道大人230円

JR佐世保駅【国道側】__番のりば 鹿子前観光船桟橋【西海パールシーリゾート】

平日(11:05 発 11:30 頃着 / 11:35 発 12:00 頃着 / 12:04 発 12:30 頃着 / 12:10 発 12:35 頃着)

タクシー（所要時間／約10分）

JR佐世保駅【国道側・港側】から約10分

長崎空港から（JR佐世保駅まで）

バス（所要時間／1時間20分） 片道大人1,350円

長崎空港 JR佐世保駅

(10:10 発 11:31 頃着 / 10:30 発 11:51 頃着 / 11:20 発 12:41 頃着)

ジャンボタクシー（所要時間／55分） 片道1,000円 *予約が必要です (TEL：0956-22-6143)

長崎空港 JR佐世保駅(10:05 発 11:00 頃着 / 10:30 発 11:25 頃着)

3. アクセス情報

